

歴史都市防災シンポジウム'10

日時：2010年7月3日（土）9:20～19:30（8:50受付開始）

場所：立命館大学 衣笠キャンパス 以学館

http://www.ritsumei.jp/campusmap/map_kinugasa_j.html

主催：立命館大学グローバル COE 歴史都市を守る「文化遺産防災学」推進拠点
立命館大学 歴史都市防災研究センター

参加費：無料。ただし、交流会の参加には5,000円（学生3,000円）が必要です。

申し込み：不要

プログラム：15分発表，5分討議，20分で終了

	A会場（23号室）	B会場（24号室）	C会場（25号室）
9:20～10:20	A1. 木造文化都市の 災害脆弱性と防災（1）	B1. 組積造文化遺産の 防災（1）	C1. 文化遺産防災に 関わる海外の事例（1）
10:30～11:50	A2. 木造文化都市の 災害脆弱性と防災（2）	B2. 組積造文化遺産の 防災（2）	C2. 文化遺産防災に 関わる海外の事例（2）
12:50～14:10	A3. 木造文化都市の 災害脆弱性と防災（3）	B3. 伝統木造建造物の 防災（1）	C3. 歴史都市の防災計 画と防災システム（1）
14:20～16:20	第二回文化遺産防災アイデアコンペティション公開プレゼンテーション		
16:30～17:50	A4. 文化遺産と水害	B4. 伝統木造建造物の 防災（2）	C4. 歴史都市の防災計 画と防災システム（2）
18:00～18:30	アイデアコンペティション表彰式		
18:30～19:30	交流会（一般5,000円 学生3,000円）		



本シンポジウムは、土木学会継続教育認定プログラム（JSCE10-0093）です。

建設系 CPD 協議会のホームページにも掲載されており、日本建築学会など各種団体で相互承認可能な場合がありますのでご確認下さい。

<http://www.cpd-ccesa.org/>

【A会場】

A1. 木造文化都市の災害脆弱性と防災 (1) 9:20～10:20

座長：大窪 健之

1. 塗屋造の外観分類とその分布に関する研究

小島 彩乃・山崎 正史・衣笠 聡

2. 住宅用火災警報器を活用した地域防災情報ネットワークの構築に向けた実証研究
～篠山市篠山重伝建地区を対象として～

深田 亮介・大窪 健之

3. 建物部材単位の耐火性向上や防災水利整備といった歴史的都市に適用可能な延焼
火災対策とその評価支援システム

横山 昇平・樋本 圭佑・田中 哮義

A2. 木造文化都市の災害脆弱性と防災 (2) 10:30～11:50

座長：山崎 正史

1. 木造文化都市を守る「延焼抑止放水システム(WSS)」の配置計画に関する研究
～京都市清水周辺地域での延焼シミュレーションによる評価を通して～

井元 駿介・大窪 健之・樋本 圭佑・田中 哮義

2. 近代寺院本堂の防災 関東地方・近畿地方の実態と意識

佐々木 健・鈴木 万里恵・勝又 英明

3. 京都市内の国宝・重要文化財建造物の GIS データベース作成と復旧工事に着目し
た災害脆弱性評価

中村 琢巳・金 玖淑・益田 兼房

4. 京都市内の文化財庭園における脆弱性の検証

今江 秀史

A3. 木造文化都市の災害脆弱性と防災 (3) 12:50～14:10

座長：深川 良一

1. 文化財建造物における自然災害リスクアセスメントの提案
～地主神社における適用例紹介～

石田 優子・深川 良一・酒匂 一成・里見 知昭

2. 数量化Ⅱ類を用いた降雨に対する京都市重要文化財後背斜面の崩壊危険度評価

里見 知昭・酒匂 一成・石田 優子・仲矢 順子・堀部 将・深川 良一・高橋 弘

3. 文化財背後斜面の安定計算に用いる強度定数について
－室内実験による基礎的研究－

安川 郁夫・酒匂 一成・関目 季亮・深川 良一・仲矢 順子・石田 優子・里見 知昭

4. 清水寺参道の石積み擁壁の耐震性評価

酒井 久和・田尾 徹郎・速水 喜裕・三村 誠

A4. 文化遺産と水害 16:30～17:50

座長：里深 好文

1. 急勾配斜面表層における水文環境

ー清水寺後背斜面における地下水流路調査ー

仲矢 順子・酒匂 一成・光谷 俊祐・深川 良一

2. Flood Risk Communication by Local Stakeholders for Residents' Self-Protection
in Urbanized Area

Piyapong Janmaimool, Sarunwit Promsaka Na Sakonnakron,
Siyanee Hirunsalee, Hidehiko Kanegae

3. 河岸の侵食による文化財への被害の軽減を目指した SPH 法を用いた
数値シミュレーションの開発

森實 千恵・酒匂 一成・Ha Hong Bui ・水田 哲生・深川 良一・里深 好文

4. 数値シミュレーションを用いた 2005 年 9 月 6 日広島県宮島で発生した
土石流災害防止策の検討

中谷 加奈・前田 大介・里深 好文・水山 高久

【B 会場】

B1. 組積造文化遺産の防災 (1) 9:20～10:20

座長：伊津野 和行

1. 歴史的組積造アーチ橋の災害時地盤変位に伴う応力変化に関する研究

岸 祐介・野阪 克義・伊津野 和行

2. 石アーチ模型の共振曲線と地震時動的挙動の実験的研究

古賀 圭一郎・工藤 祐資・山尾 敏孝

3. イラン・タブリーズ市の歴史的建築物 Arg-e Tabriz の耐震安全性評価

山道 康平・宮島 昌克・Abdolhossein Fallahi

B2. 組積造文化遺産の防災 (2) 10:30～11:50

座長：谷口 仁士

1. ネパール・パタン市における煉瓦造建物の振動特性調査

梅村 恒・谷口 仁士・神谷 太啓

2. ネパールの歴史的組積造建造物の地震時挙動について

古川 愛子・清野 純史・土岐 憲三・谷口 仁士・H. R. Parajuli・P. N. Maskey

3. Parametric Study and Dynamic Analysis of a Historical Masonry Building of Kathmandu

Hari Ram Parajuli, Junji Kiyono, Hitoshi Taniguchi,
Kenzo Toki, Aiko Furukawa, Prem Nath Maskey

4. 1894 年マルマラ海地震によるイスタンブル旧市街地での
歴史的建造物の被害分布と地盤条件の関係

守田 正志・翠川 三郎・Atilla Ansal・Barbaros Çentiner

B3. 伝統木造建造物の防災 (1) 12:50～14:10

座長：須田 達

1. 常時微動観測に基づく江戸中期三重塔の振動特性推定
三辻 和弥・永井 康雄・佐々木 達夫・クアドラ カルロス
2. 国宝円覚寺舍利殿の構造性能評価
千葉 一樹・藤田 香織・栗田 哲
3. 伝統木造軸組の実大静的・動的実験のシミュレーション
棚橋 秀光・鈴木 祥之
4. 伝統木造建築物のめり込み解析用パラメータの非破壊的評価の試み
大岡 優・棚橋 秀光・伊津野 和行・鈴木 祥之・土岐 憲三

B4. 伝統木造建造物の防災 (2) 16:30～17:50

座長：棚橋 秀光

1. 2007年能登半島地震における伝統木造住宅の地震応答解析
ー輪島市門前町の被災住宅を対象としてー
村田 晶・鎌田 嵩之・池本 敏和・宮島 昌克
2. 金沢市主計町における伝統木造住宅の耐震性能
河原 大・後藤 正美・須田 達・鈴木 祥之
3. 不在木造家屋の構造健全性維持のための保守管理に関する調査研究
向井 洋一・藤平 眞紀子・田中 瑛子
4. 建物固有周期と入力動周期の建物滑動量への影響
山田 耕司・向坊 恭介・鈴木 祥之

【C会場】

C1. 文化遺産防災に関わる海外の事例 (1) 9:20～10:20

座長：板谷 直子

1. 文化遺産保護と紛争に関する国際規範形成の歴史
高橋 暁・益田 兼房
2. 台湾における「文化替代役制度」とその文化遺産防滅災における
役割に関する研究
中野 くみ恵・大窪 健之
3. ダフニ修道院とオリンピア遺跡における災害復旧工事の理念と手法
金 玟淑・益田 兼房・後藤洋三

C2. 文化遺産防災に関わる海外の事例 (2) 10:30~11:50

座長：益田 兼房

1. 地震帯にある文化遺産歴史都市の持続可能な保存 –ペルーの事例–
メンドサ島田 オルガ恵子・益田 兼房
2. カトマンズの歴史都市における文化遺産の災害脆弱性に関する事例的研究
板谷（牛谷）直子・ロヒト ジグヤス
3. Needs of Low-income Residents in Flood-Prone Area
to Mitigate Their Flood Loss through Microinsurance
A case study of Tambon Phu-Kao-Thong, Ayutthaya province, Thailand
Sarunwit Promsaka Na Sakonnakron, Piyapong Janmaimool,
Siyanee Hirunsalee, Hidehiko Kanegae
4. Flood Local Knowledge and Its Transferred Possibilities: A case study of Ayutthaya,
World Heritage Site of Thailand
Hirunsalee Siyanee, Janmaimool Piyapong,
Promsaka Na Sakornnakorn Sarunwit, Kanegae Hidehiko

C3. 歴史都市の防災計画と防災システム (1) 12:50~14:10

座長：鐘ヶ江 秀彦

1. 展示文化財の地震時転倒防止策に関する検討
野澤 亮太・長嶋 文雄
2. 文化遺産防災のための道路モニタリング地点の優先性評価に関する研究
塚口 博司・小川 圭一・安 隆浩
3. 文化遺産防災のための道路モニタリングシステムにおける
監視カメラの効果的な配置計画に関する研究
小川 圭一・塚口 博司・安 隆浩
4. 防災利用を目的としたマルチホップ無線 LAN システム
奥出 耕平・中川路 傑・野口 拓・川合 誠

C4. 歴史都市の防災計画と防災システム (2) 16:30~17:50

座長：小川 圭一

1. 金沢市寺町台地における歴史的町並み保存地区の
防災計画に関する調査的研究
大窪 建史・池本 敏和・宮島 昌克・後藤 正美・村田 晶・鈴木 祥之
2. 花街・上七軒における歴史的まちなみ保全活動の変遷
–本当の「住民主体」のまちづくりとは何か？–
城月 雅大・豊田 祐輔・関谷 諒・大槻 知史・鐘ヶ江 秀彦
3. 杉本家における防災の備え
杉本 歌子・金 玖淑・益田 兼房
4. 防災広場としてみたちびっこひろばの地理的条件による分類に関する研究
水谷 可南子・武田 史朗・及川 清昭